

ミライアル株式会社

**2025年1月期
決算説明資料**

2025年3月10日



1. 2025年1月期決算概要
2. 2026年1月期第1四半期業績予想
3. 「中期成長戦略 2028」進捗と取り組み

- 1. 2025年1月期決算概要**
2. 2026年1月期第1四半期業績予想
3. 「中期成長戦略 2028」進捗と取り組み

連結業績ハイライト

Miraial

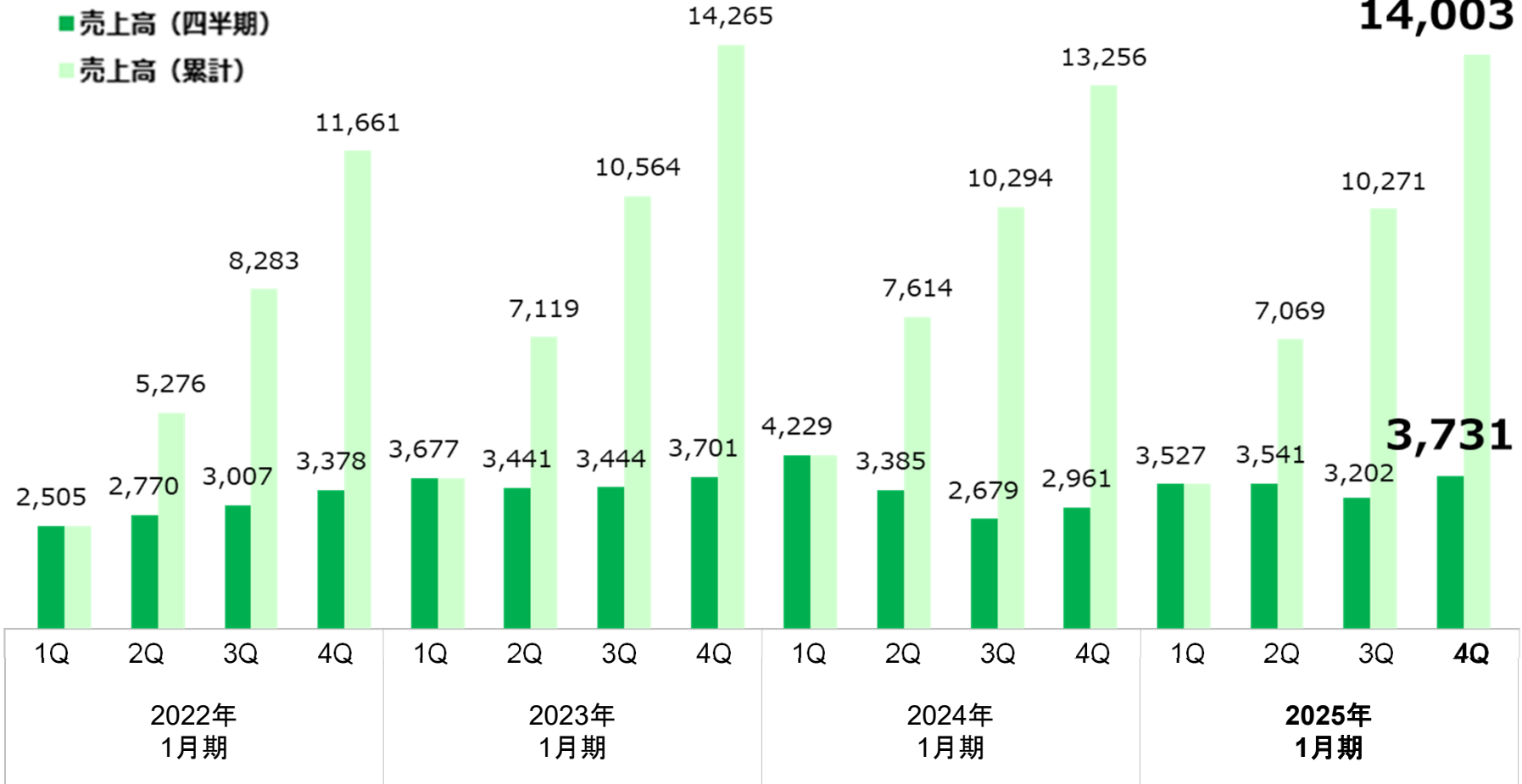
売上高	14,003 百万円	前年同期比	5.6% 増
営業利益	1,434 百万円	前年同期比	5.7% 減
当期純利益※	1,058 百万円	前年同期比	3.2% 増
設備投資額	3,720 百万円	前年同期比	30.2% 減
減価償却費	1,296 百万円	前年同期比	23.2% 増

※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益を示す

連結売上高推移

Miraial

(単位:百万円)

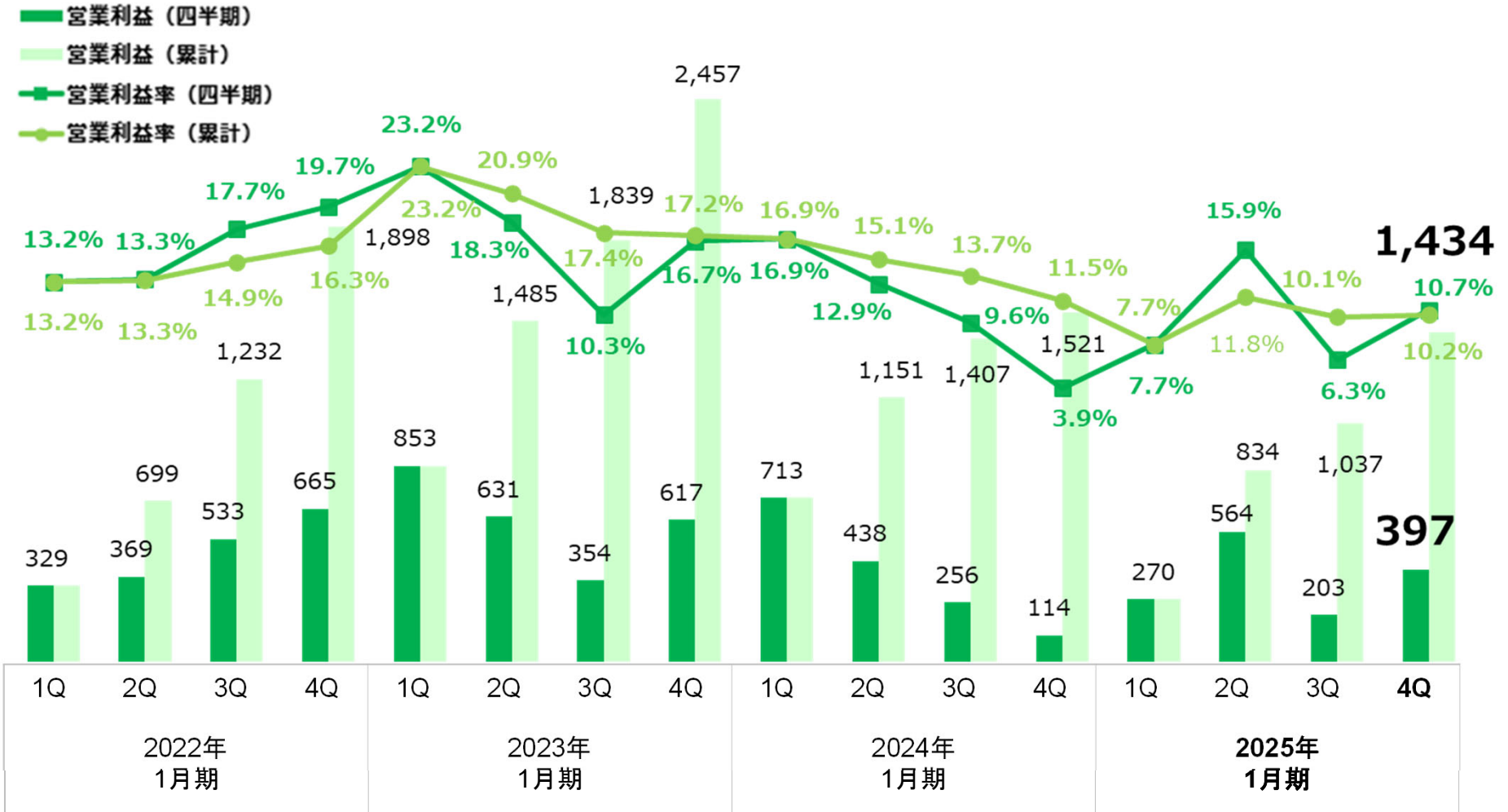


半導体市場の需要回復はAI関連分野が堅調である一方で、スマートフォン等の民生品市況は軟調であり、全体としては緩やかな回復状況が継続
成形機事業は受注は軟調に推移したものの、前年受注残を上期を中心に消化

連結営業利益推移



(単位:百万円)

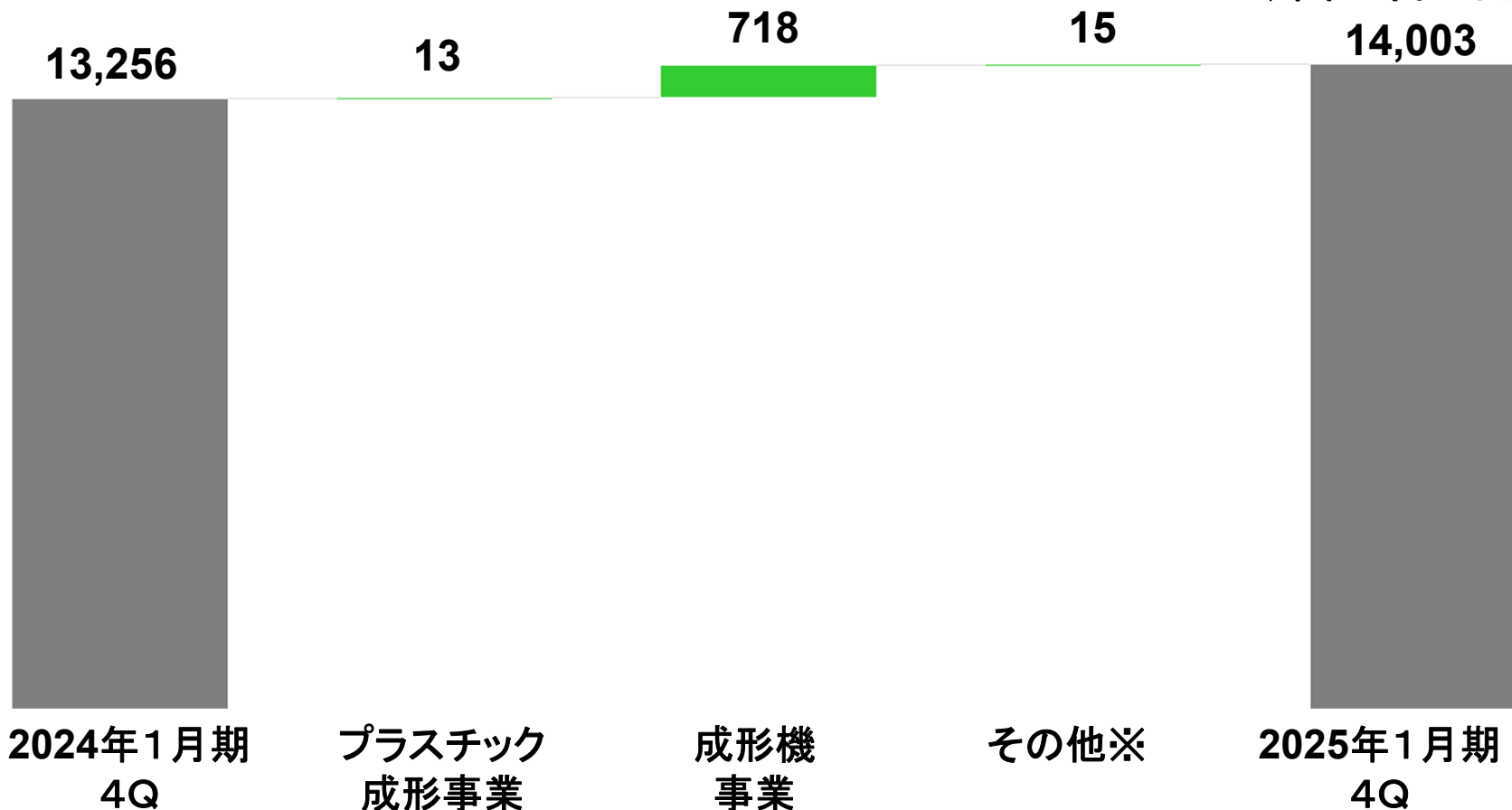


設備投資の進捗による減価償却費の増加、購入品価格の高止まりがある一方で、成形機事業は受注状況の軟調ではあるが稼働状況は一定を維持

売上高 増減要因分析

Miraial

(単位:百万円)



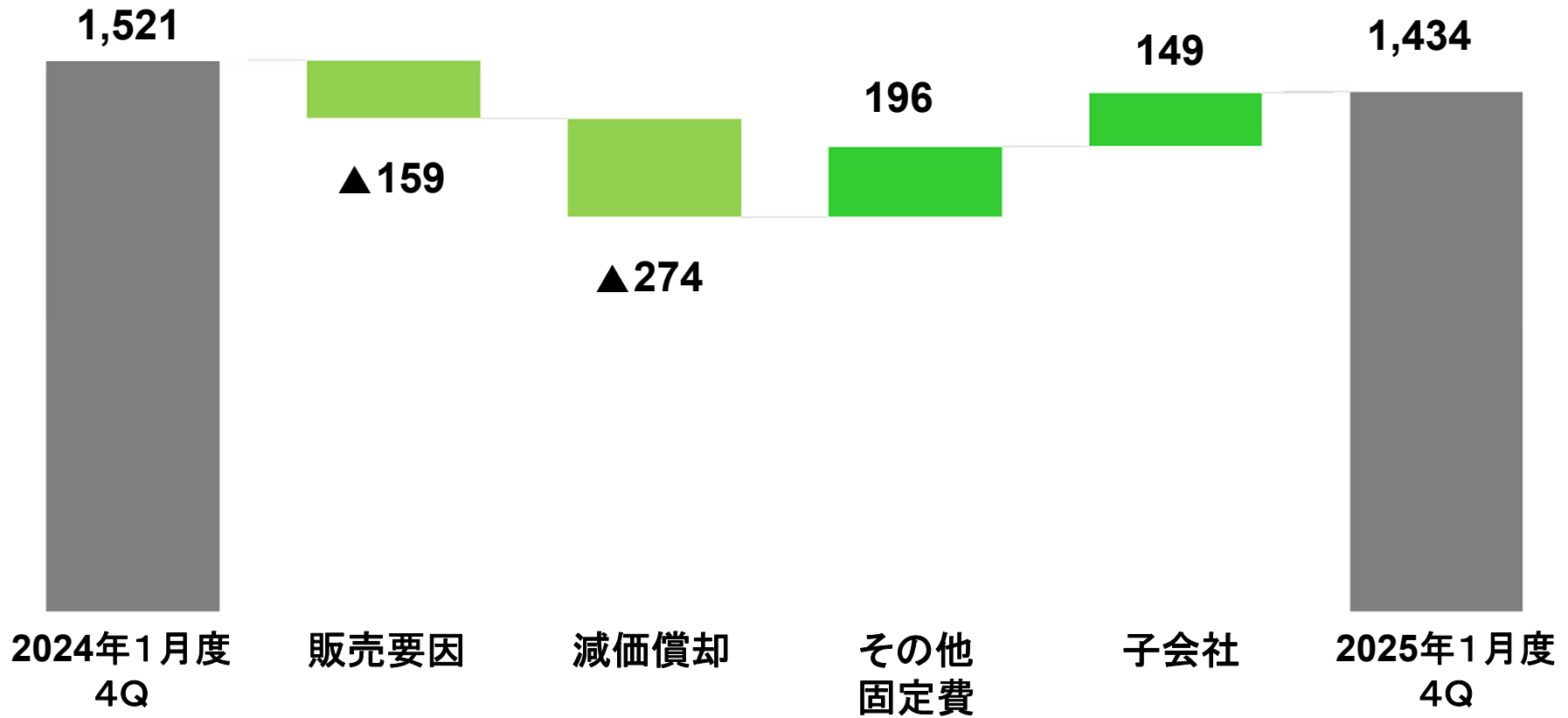
※その他:セグメント間取引消去や報告セグメントに帰属しない費用等

プラスチック成形事業は需要回復が用途によりまだらであった半導体市場の影響を受けつつも前年のほぼ横ばい
成形機事業は前年受注残を上期を中心に消化し増加

営業利益 増減要因分析

Miraial

(単位:百万円)

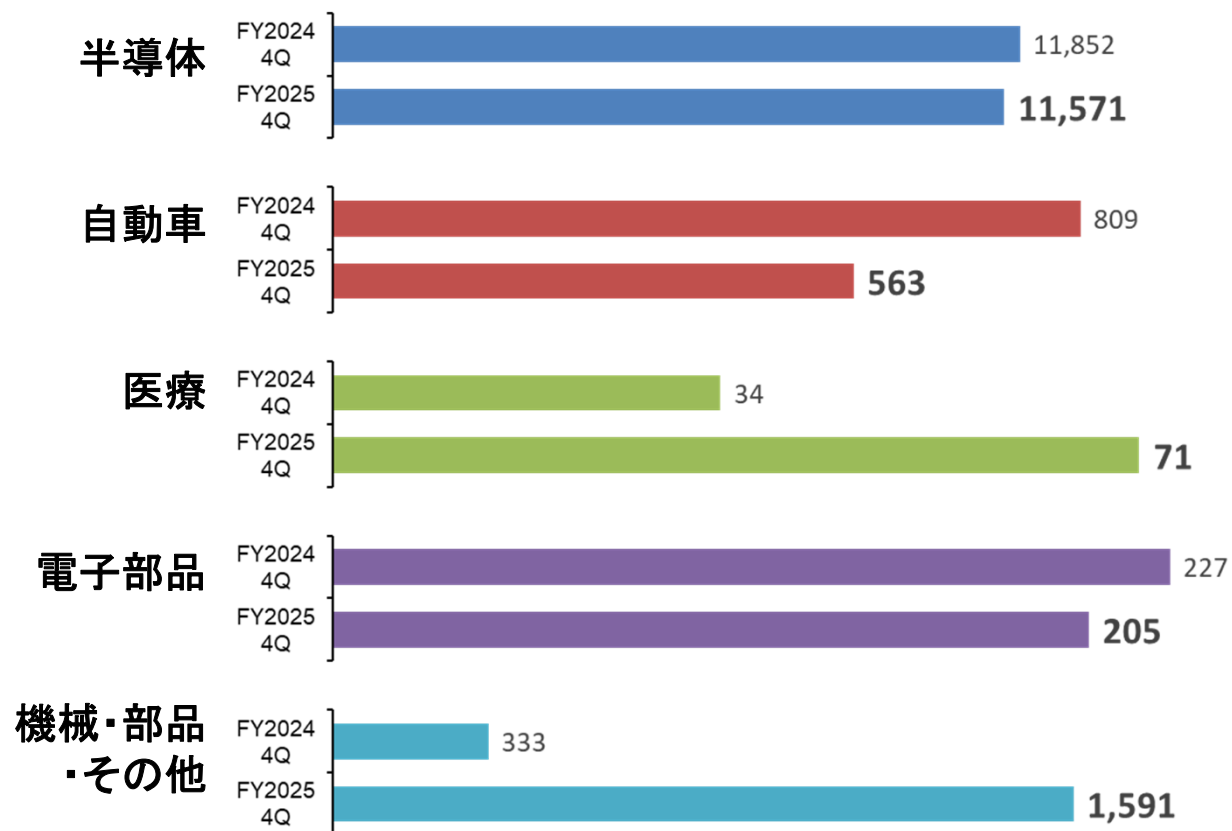
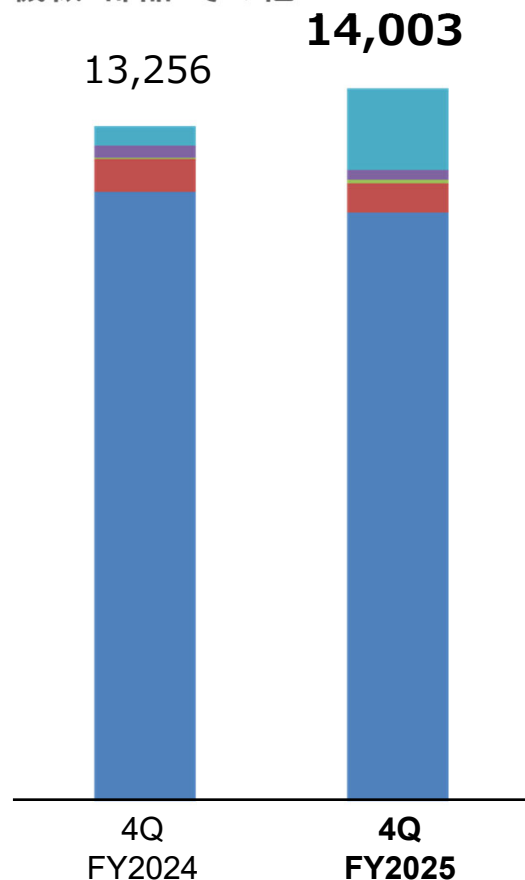


半導体市場の需要回復状況の影響により販売は前年のほぼ横ばいであったが、品種構成、購入品の価格高止まり、設備投資の進捗による減価償却費の増加等により利益は減少

市場別 売上高内訳

(単位:百万円)

- 半導体
- 自動車
- 医療
- 電子機器
- 機械・部品・その他



半導体、自動車関連は市場の需要が軟調に推移
 機械・部品・その他では特殊機の売上影響により前期比で増加

連結損益計算書

Miraial

単位:百万円	2025年 1月期	2024年 1月期	増減率
売上高	14,003	13,256	5.6%
売上総利益	3,167	3,249	▲2.5%
販売管理費	1,732	1,727	0.3%
営業利益	1,434	1,521	▲5.7%
営業利益率	10.2%	11.5%	▲1.2pts
経常利益	1,516	1,603	▲5.4%
特別利益	50	—	—
特別損失	33	82	▲59.0%
当期純利益*	1,058	1,025	3.2%

※当期純利益:親会社株主に帰属する四半期純利益を示す

連結貸借対照表

Miraial

単位：百万円	2025年 1月期	2024年 1月期	増減
流動資産	12,929	13,285	▲355
固定資産	15,592	13,246	2,346
総資産	28,522	26,531	1,991
流動負債	5,492	4,183	1,308
固定負債	533	554	▲20
純資産	22,496	21,793	702
(内)利益剰余金	21,645	20,948	697
自己資本比率	78.9%	82.1%	▲3.3pts

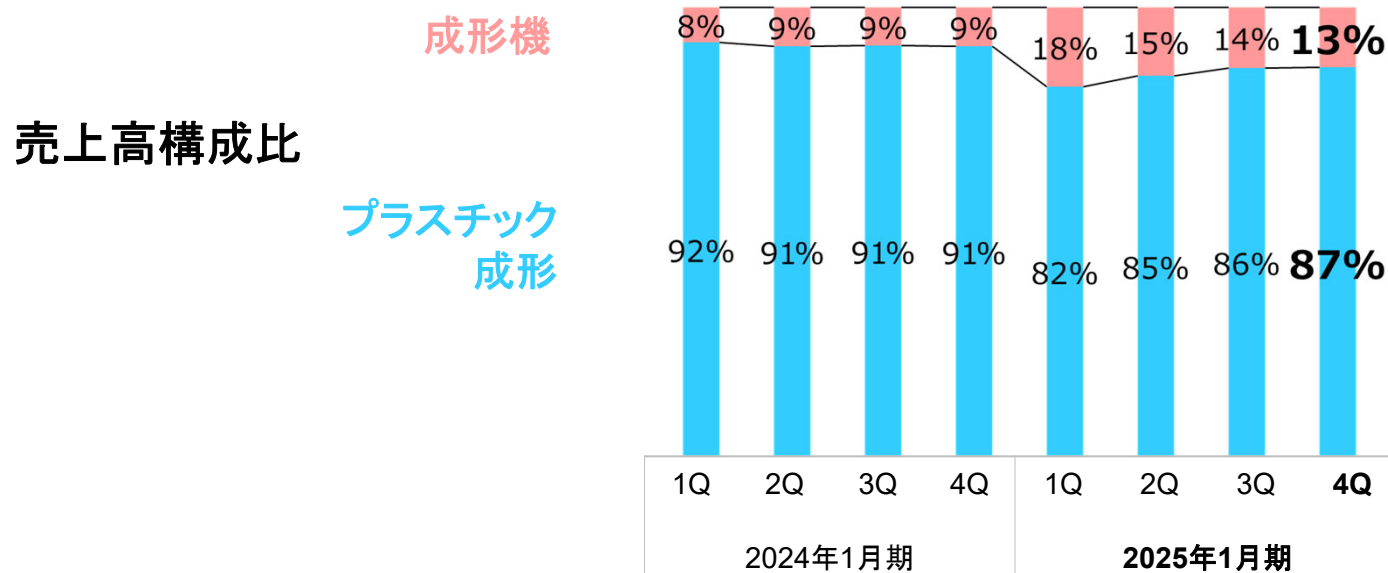
連結キャッシュ・フロー計算書

Miraial

単位:百万円	2025年 1月期	2024年 1月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,336	338
（内）減価償却前税引前損益	2,829	2,573
（内）仕入債務の増減額（▲は減少）	427	▲590
（内）法人税等の支払額	▲213	▲922
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,239	▲4,598
（内）固定資産の取得による支出	▲3,357	▲4,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲386	▲478
（内）配当金の支払額	▲360	▲450
現金及び現金同等物の期末残高	6,474	6,759

セグメント別業績ハイライト

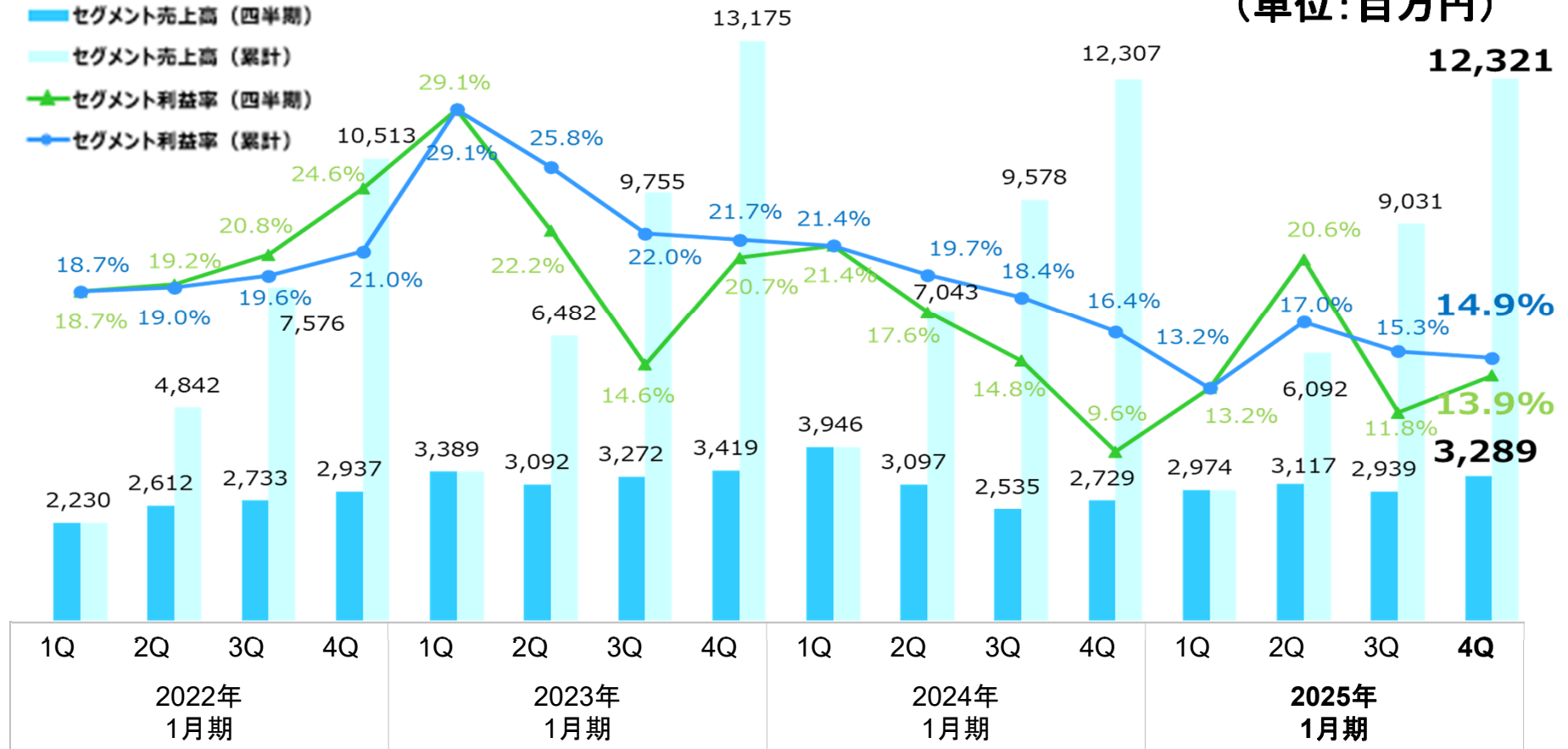
	売上高	セグメント利益
プラスチック成形	12,321 百万円 (前年同期比 0.1%増)	1,840 百万円 (前年同期比 9.0%減)
成形機	1,894 百万円 (前年同期比 61.1%増)	273 百万円 (前年同期比 156.0%増)



セグメント別業績 -プラスチック成形-



(単位:百万円)



半導体関連製品

AI関連の需要回復が堅調であった一方で、スマートフォン等の民生品の回復は軟調
設備投資の進捗による減価償却増加、購入部材費の高止まりの状況は継続

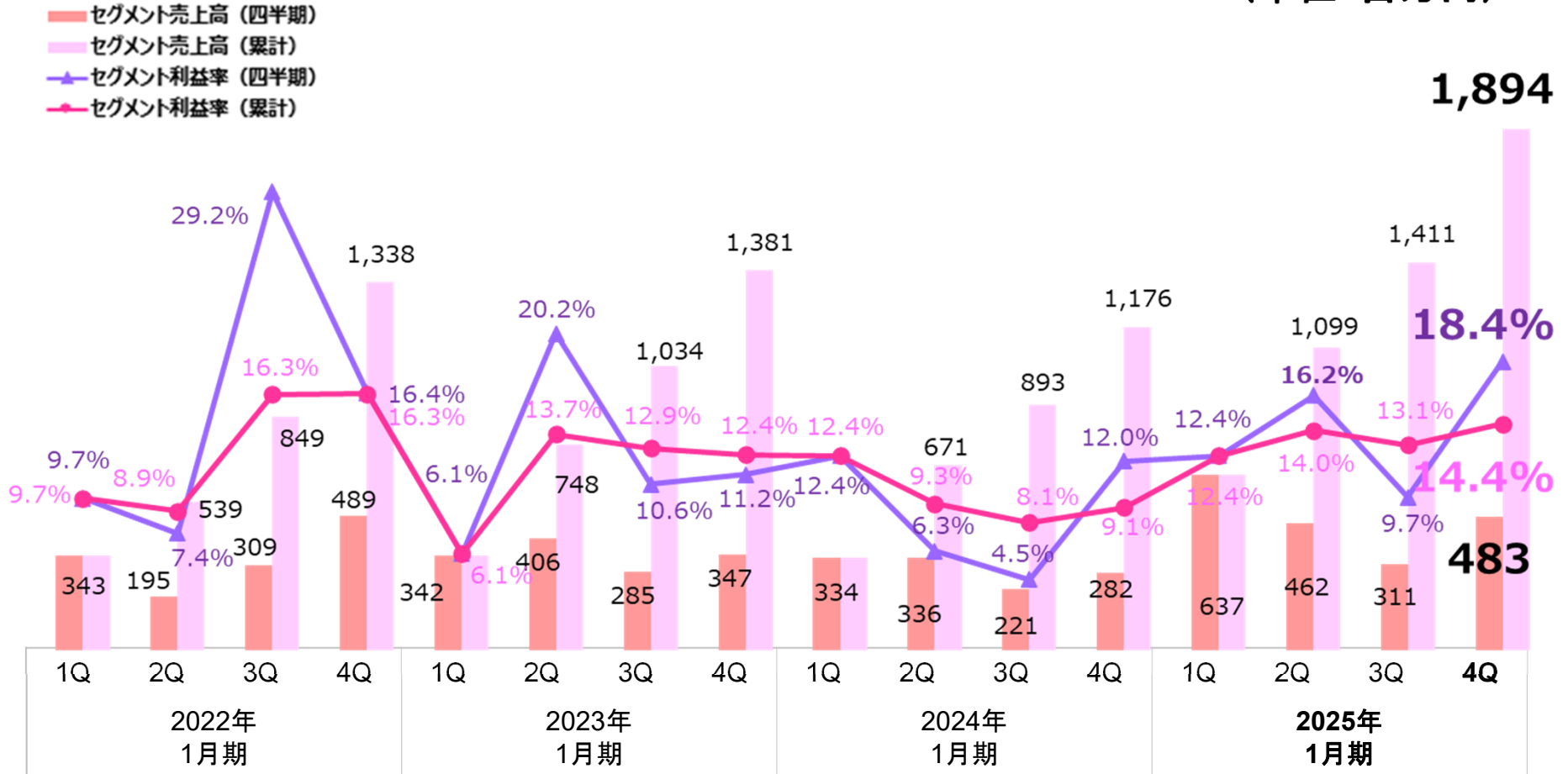
その他関連製品

機械・部品関連が堅調に推移

セグメント別業績 -成形機-

Miraial

(単位:百万円)



自動車業界の市況低迷の影響等を受け、足元の受注状況が軟調に推移一方で安定した部品供給状況もあり一定の稼働率は保つ

1. 2025年1月期決算概要
- 2. 2026年1月期第1四半期業績予想**
3. 「中期成長戦略 2028」進捗と取り組み

2026年1月期通期業績予想等

Miraial

単位: 百万円	2026年1月期			2025年1月期
	1Q (予想)	増減額 (対前年同期)	増減率 (対前年同期)	1Q (実績)
売上高	2,950	▲577	▲16.4%	3,527
プラスチック成形事業	2,670	▲292	▲9.9%	2,962
成形機事業	320	▲297	▲48.1%	617
内部売上高等調整	▲40	14	▲25.9%	▲54
営業利益	150	▲120	▲44.4%	270
経常利益	160	▲130	▲44.8%	290
当期純利益※	105	▲81	▲43.5%	186

※当期純利益: 親会社株主に帰属する四半期純利益を示す

[配当予想]

	2026年1月期	2025年1月期
配当金	未定	中間: 20円/株(実績) 期末: 20円/株(予定)

1. 2025年1月期決算概要
2. 2026年1月期第1四半期業績予想
3. 「中期成長戦略 2028」進捗と取り組み

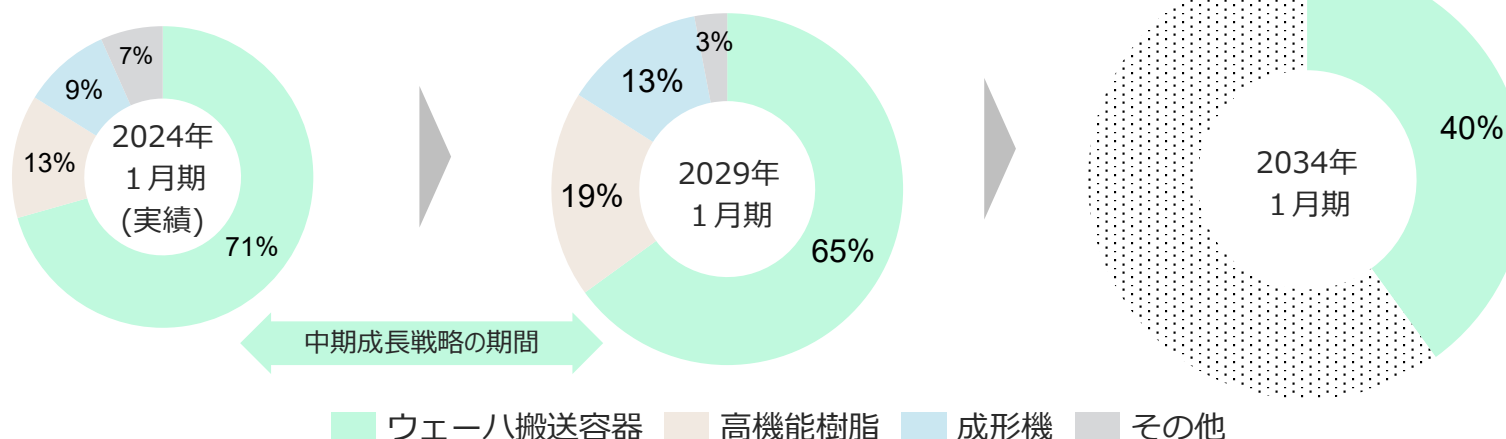
中期成長戦略2028(概要)

当期2025年1月期を初年度とする5か年の中期成長戦略

事業戦略

- ✓ 半導体の微細化に伴うクリーン化要求への対応
- ✓ 半導体市場の急成長の中でも安定供給できる体制の構築
- ✓ クリーン化技術やスーパーエンブラの加工技術等の強みを活かせる新規マーケットを開拓する
- ✓ EVの次世代モーター向けの封止用トランスファー成形機を拡販

[最終年に目指す事業ポートフォリオと10年後に目指すポートフォリオ]



数値目標/財務戦略

- ✓ 業績の伸びに加えて、資本コストを上回るROEの実現もKPIとして設定

[最終年度数値目標]

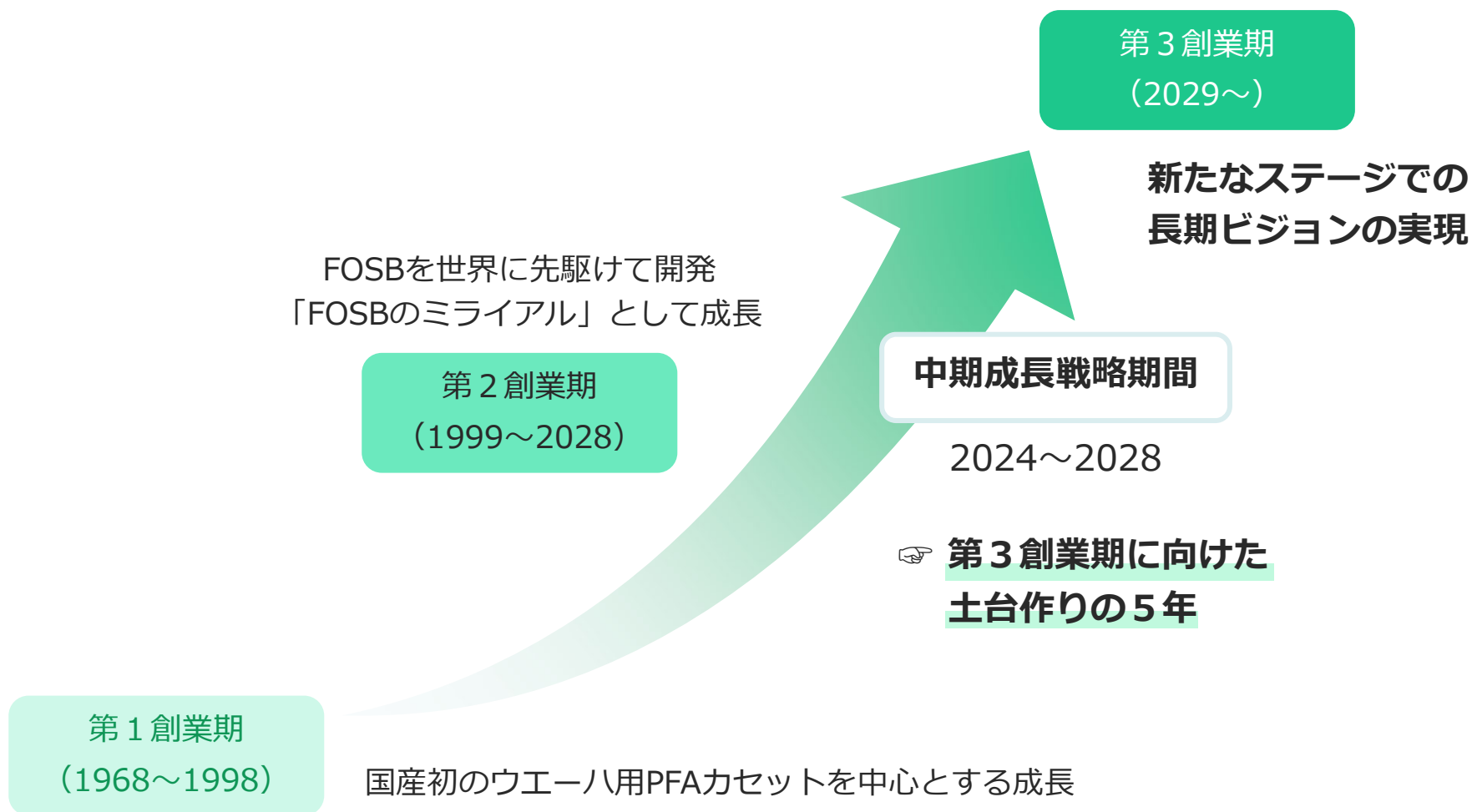
	売上高	営業利益	営業利益率	ROE
2029年1月期	239億円	47億円	20.0%	11.1%

- ✓ 30%を目途とした安定配当を維持しつつも、資本効率の改善を目指した自社株買いも視野

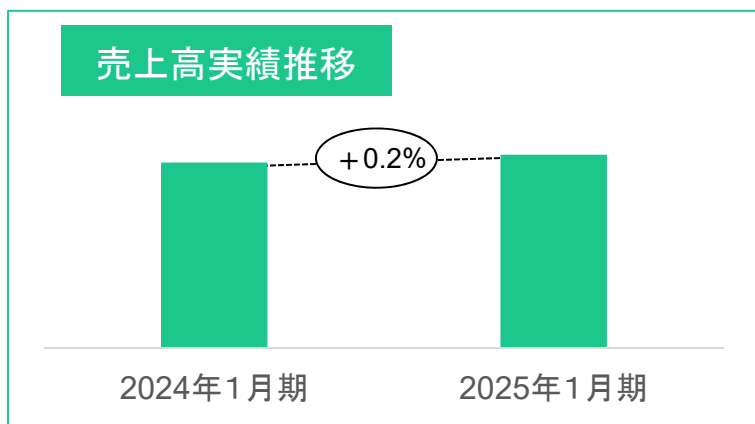
中期成長戦略2028(概要)



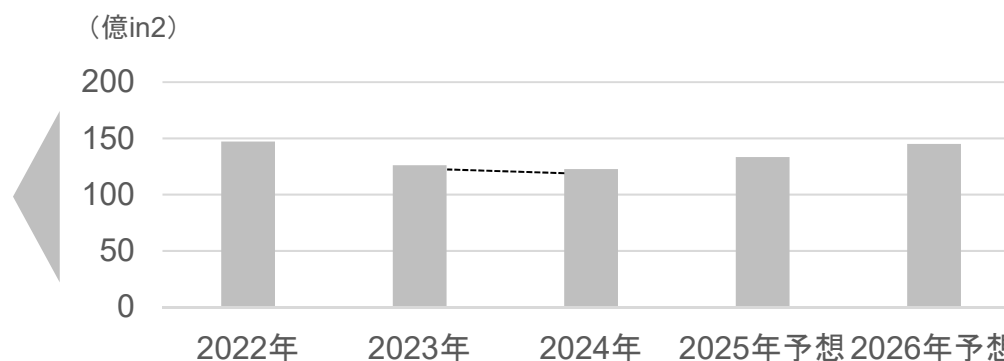
新たなステージで長期ビジョンを実現するための土台作りの5年間と位置付け変革に取り組む。
中期経営計画初年度として増産体制の構築を中心に土台となる一歩を進めることはできた。



300mmウエーハ搬送容器事業は安定供給、生産性向上などに関連する生産体制の構築。クリーン化技術を活かし、市場からの高品質要求に応えると共に新用途への展開を図る。

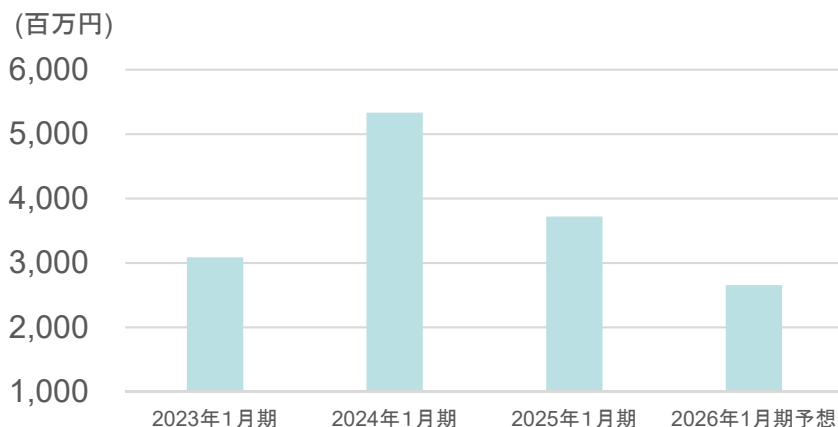


[半導体用シリコンウエーハ資料の年次動向及び予想]



出所：SEMIデータ及び複数社情報から当社推計

[設備投資実績及び予想]



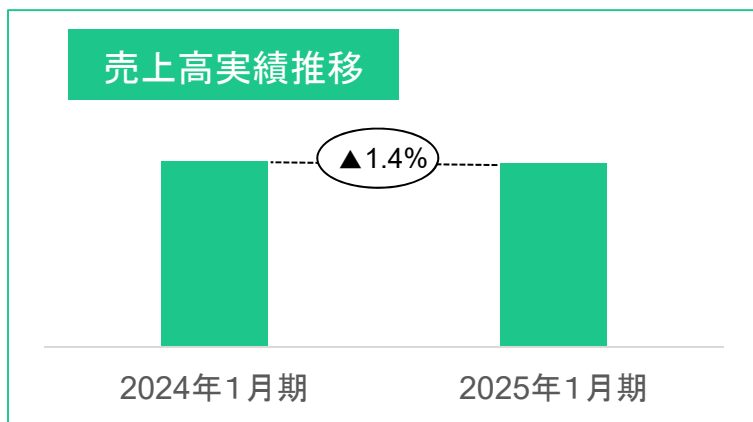
[販売状況]

- ✓ ウエーハ市場全体の需要回復が遅れる環境で前年ほぼ横ばいの売上
→来期市場回復を下期以降と見込む

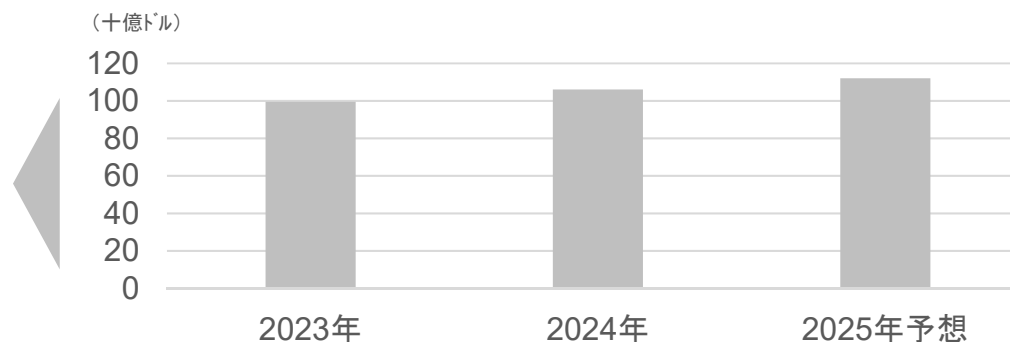
[設備投資状況]

- ✓ 半導体市場の急成長の中でも安定供給及び生産性向上のための設備投資を実施
→2026年1月期以降も市場動向を注視し実施

クリーン化技術やスーパーエンブラの加工技術などの強みを活かせる新規マーケットを開拓に加えて、新規マーケットを深耕することで市場成長以上の拡大を実現する。



[半導製造装置市場の予想]



出所: SEMIデータ及び複数社情報から当社推計

[体制の構築]

- ✓ 搬送容器事業に次ぐ2本目の柱と成長させる事業
→開発、製造、営業に加えグループ企業・拠点のシナジー、新たな生産設備を含めた体制を構築

[品質向上と差別化]

- ✓ 顧客理解を基に品質向上、差別化
→既存加工技術による拡販、新たな加工技術による新規ビジネスの拡大を図る

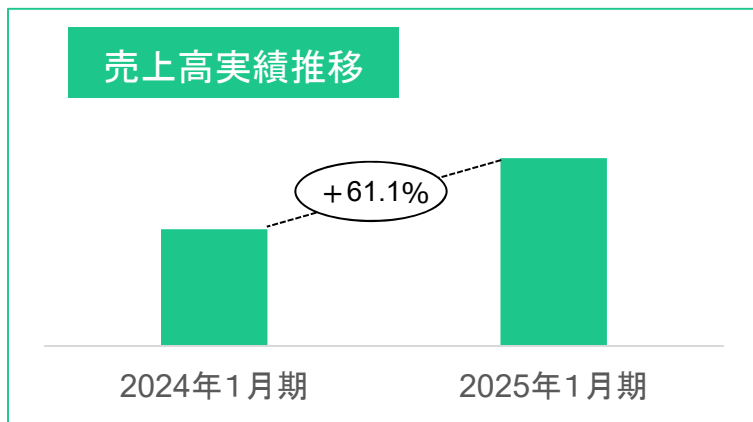


フッ素樹脂大型成形品

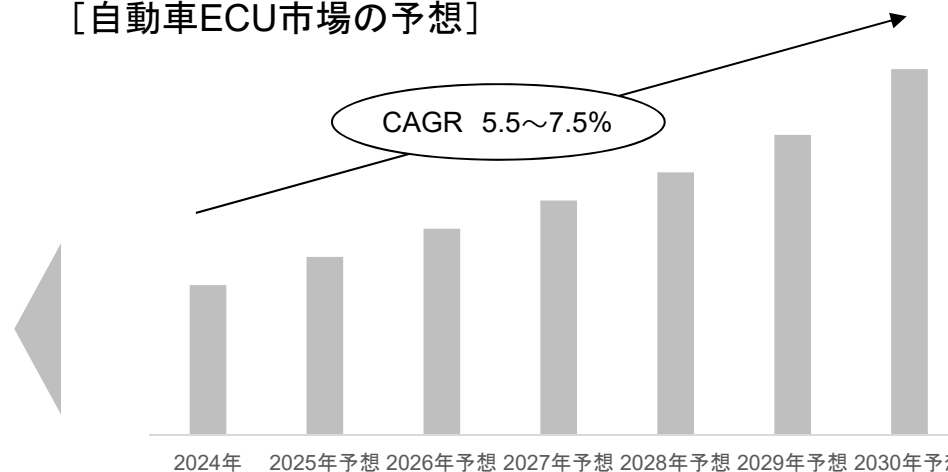


フルイドシステム

独自の制御を特長とするトランスファー成形機を主軸に、成長産業であるEV市場を中心に事業を拡大する



[自動車ECU市場の予想]



出所：複数社情報から当社推計



モーターコイルの封止例

[トランスファー成形機]

- ✓ モーター関連の試作関連の引き合いはここ数年増加しているがEV計画が減速傾向
→HEV、BEV関連のモーター、ECU関連を取り込む















[海外受注・販売]

- ✓ 中国市場を中心とした海外顧客需要を取り込む
→世界市場を見据えたグローバル展開を商社・代理店を有効活用

中期成長戦略2028の進捗：サステナビリティの取り組み



持続可能な社会実現と企業価値向上を目指しサステナビリティ委員会を設置。
サステナビリティ委員会の活動を通じて、社会と企業の持続的な発展に貢献する。

	マテリアリティ(重要課題)	中長期の主要取組方針	SDGs関連
環境 	気候変動への対応	再生可能エネルギー導入によるCO2排出量削減	  
	持続可能な人材育成	社会のニーズを先取りし、自発的に考え行動する自立型人材の育成	  
	安心安全な労働環境	従業員の人権と多様性の尊重 成長の喜びを感じられる職場環境構築	
	地域社会への貢献	安心・安全なまちづくりへの貢献 小中高への出前授業を通じた地域貢献	  
社会 	生物多様性の保全	里山づくりや森林保全への参画	 
	ガバナンス	コーポレートガバナンス強化	社外取締役活用によるガバナンスの強化
G	サステナビリティ経営の推進	サステナビリティ経営体制の構築	

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 経営企画部

電話:03-3986-3782 FAX:03-3986-3853

E-Mail: investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。